

# 明治大学の歴史

**創立140周年を迎えた明治大学の  
歴史・由来(キャンパスの変遷を中  
心として) 2021年1月17日**

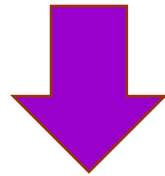
**校友連携事務室 岩崎宏政**

# 本日の講義の概要

- 1 創立140周年を迎えた明治大学の歴史及び由来
- 2 明治大学のキャンパスの変遷の概要
- 3 知っててためになる？ 校友を始めとした明治大学関係者にも自慢できる「明大トリビア」

# 明治大学のルーツは？

明治大学との運命の糸を手繰り寄せて、母校として選択し「校友」となった皆さんと、母校の創立140周年を祝うとともに、さらなる母校愛の醸成のために！



明治大学の歴史・由来を理解し、創立者や先達の母校への情熱に思いを馳せてみよう！

キーワード

「温故知新」



# 明治大学のルーツは、1881年(明治14年) 1月17日に開校(創業)した「明治法律学校」

- **名称 明治法律学校**
- **開校(創業)日 1881年(明治14年)1月17日**
- **創立者【開校時はすべて20代の無名の青年法律家】**

<b>岸本辰雄</b>	<b>鳥取藩</b>	1851年(嘉永4年)11月8日生
<b>宮城浩蔵</b>	<b>天童藩</b>	1852年(嘉永5年)4月15日生
<b>矢代 操</b>	<b>鯖江藩</b>	1852年(嘉永5年)6月20日生
- **経緯**

創立者3名が、岸本・宮城の**仏留学仲間である西園寺公望(第12代・14代首相)**らの協力により開校(創業)した明治法律学校が母体。〈開校時は、1876年(明治9年)創立の**「講法学会」からの生徒17~8名が入校**〉

# 明治法律学校の名前の由来は？

- 1 明治法律学校の名前の由来は？と問われたら、
  - ◎ **開校時の『元号』が「明治」だったから**  
という解答が多いと思う。
  - ※ **間違いではないが、正解とするには不十分**
- 2 設立時に著された「**明治法律学校設立/趣旨**」  
(現代語訳：抜粋)によると、  
「**同心協力**して一つの学校を設立し、まさに一般の人々と協力して、大いに法の道理を講究し、その真諦(しんたい：究極の真実)を拡張しようと思っている。**これを名付けて明治法律学校という。これは私的に聖徳の高い天皇に遭遇した喜びを表したものである。**」  
校名の「**明治**」は、**徳の高い「明治天皇」の時代を生きる喜びを称えて付けられたものである。**

# 明治大学の創立者が無名な訳は？

## 1 明治法律学校開校時の創立者の特徴

岸本辰雄、宮城浩蔵、矢代 操は、共に20代の白面の法律家で、学校経営者と教員の二つの顔を持っていた。(出合いは、貢進生として「大学南校(東京大学の源流)」で、ともに仏法を学んだこと。)

## 2 他校(大学)の創立者との比較

(1) 慶応義塾(蘭学塾) 1858年創立【慶応義塾大学】・・・**福澤諭吉**

1881年(明治14年)当時、社会的地位もある年齢46歳であり、前年の廃塾危機を募金で乗り切る。「学問のすゝめ」でも有名

(2) 東京専門学校 1882年創立【早稲田大学】……………**大隈重信**

42歳のとき「明治14年の政変」により下野し、翌年3月に立憲改進黨を結党した後、同年10月に東京専門学校を創設するも、資金・土地の提供はしたが、事務は担っておらず、また、教員でもなかった。

# 明治大学発祥の地(明治法律学校の開校地)は？

明治法律学校の3名の創立者



岸本辰雄

宮城浩哉

矢代操

**西園寺公望(1849-1940)**  
**明治法律学校設立の趣旨の起草者**  
(本学創立者たちのフランス留学仲間)

ウィキペディアより




京都出身の公家。1870年(明治3年)にフランスに留学(10年間)し、帰国後に、明治法律学校の設立に参画。第12・14代内閣総理大臣就任。本学のほか、立命館、日本女子大学校などの設立にも参画



# 明治大学の発祥地(明治法律学校の開校地)は？

学校の開業届(1880年12月8日)では、東京府 麹町区上六番町36番地(現 東京都千代田区三番町16番地)の**宮城浩蔵宅**であった。

◎ **理由** 開校1か月前なのに**開校地が決まっていなかった**ため  その後、交渉の結果、東京府への移転届の提出により、

麹町区有楽町三丁目一番地(現 千代田区有楽町2丁目2番地の北側:「ヒューリックスクエア東京」付近)の**数寄屋橋の「旧島原藩上屋敷(松平忠和邸)」内の「三楽舎跡」校舎として開校した。**

(1995年まで、資料乏しく、開校地は特定されず。)

# 明治法律学校開校地(旧島原藩上屋敷)の位置(江戸切絵図)



# 数寄屋橋・数寄屋橋門(1871年(明治4年))撮影

ウィキペディアより



# 1881年(明治14年)開校当初の明治法律学校 (数寄屋橋キャンパス)想像図



※ 開校時の写真は1枚も残されておらず、**創立70周年記念のときに、想像図として作成させたもの**

# 開校当初の明治法律学校は、借家住まいからのスタートだった！

因みに、松平忠和邸であった三楽舎跡の敷地は、約4,050坪だったとのこと。明治法律学校は、その敷地内の約373坪【建物約311坪】を、月々約50圓(当時)で賃借しており、開校時は「借家住まい」からのスタートであった。

※ 参考 明治初期の「1圓」は、現在の「約2万円」とのこと。

賃料(月額) 50圓 × 2万円 ≒ 約100万円

最近の有楽町付近の物件賃料(月額)との比較

坪 3.5万円 × 約 311坪 ≒ 約 1,089万円

1,089万円 ÷ 100万円 ≒ 10.89倍

また、旧島原藩が拝領していた三田の中屋敷は、明治政府に献納された後、東京府から借用する形態で、慶應義塾の校地(現 慶應義塾大学三田キャンパス)となった。

# 明治法律学校の開校地の「大家」さん



ウィキペディアより

旧肥前島原藩主 松平忠和(第15代将軍 徳川慶喜の実弟)  
1851年(嘉永4年)～1917年(大正6年)

# 1881年当時の「50圓」(賃料)の価値は？

壹圓札



**1881年当時流通していた大日本帝国政府紙幣  
「一圓」券(改造紙幣)  
(当時の一圓の価値は、現在では約2万円?)**

**※日銀兌換紙幣発行は、1885年(明治18年)から**

# 旧島原藩中屋敷黒門

慶應義塾大学HPより



現 慶應義塾大学 三田キャンパス



# 明治法律学校が数寄屋橋キャンパス を開設した理由とは？



校章の変遷

# 明治法律学校が数寄屋橋キャンパスを開設した理由とは？

- 旧島原藩邸があった有楽町は江戸時代、「大名小路」と称されるほど大名屋敷が集中していた。(所有者の一部は、明治政府からの接收を免れた屋敷で、賃料を取って「貸間業」を行っていた。)
- 多くの学生を一堂に集めて授業を行うには、大広間のある武家屋敷は、格好の施設であった。
- 創立時の講師は、専任ではなく、日中は官庁を中心とした別の仕事をもっていたため、有楽町は、司法省を始めとする官庁街に至近で都合がよかった。(授業時間 7:30～8:30, 15:30～16:30, 18:00～19:00の3時制限)
- 居室の多い旧島原藩邸を、教場としてだけでなく、地方出身者向けの寄宿舎として利用しようと考えていた。

# 明治大学発祥の地記念碑

所在地： 東京都千代田区有楽町2丁目2番地 付近  
(有楽町マリオン前の「晴海通り」向かい側)



「明治大学発祥の地」記念碑(1995年)

# 数寄屋橋周辺の風景 2016年6月

※ 2017.3.20～2018.8.31(予定)は、地下鉄用通路工事のため撤去



有楽町マリオン



明治大学発祥の地記念碑

# 現在の数寄屋橋周辺の風景 1 2019年5月



**2019年5月18日 明治大学発祥の地記念碑周辺の整備工事完了**  
**※ 外国人にも分かるように、英文・和文併記の説明板設置**

## 現在の数寄屋橋周辺の風景 2 2019年5月



記念碑裏に新たに設置された説明板【和英文併記】

# 現在の数寄屋橋周辺の風景 3 2019年5月



有楽町の中でも一等地に設置されている。左側は2018年10月竣工のヒューリックスクエア東京  
※ ウィキペディアより

# 有楽町数寄屋橋から駿河台南甲賀町へ 1

- ・ 数寄屋橋キャンパス開校時 1881年(明治14年)  
敷地約4050坪のうち、約373坪、建物約311坪を  
月 **50圓**で賃借 学生数 44名  
※1882年10月 第1回卒業生20名、同年12月 校友規則制定

- ・ 学生数の急激な増加への対応と移転検討

1881年末 **381名**

1882年 **406名**

1883年 **345名**



**収容人数 超過状態**

- ・ 一時的な分舎設置届出 1884年(明治17年)

- 麴町分舎 東京府麴町区一番町(東京都千代田区三番町)

- ※ 西園寺公望の実兄「徳大寺実則(明治天皇侍従長)」邸

- 理由 寄宿舍が手狭になったこと。(西園寺から何等かの支援?)

- 八王子分舎 八王子の妙楽寺を借りて、分舎を設置するも、

- 麴町・八王子分舎のいずれも、翌年には廃止



# 有楽町数寄屋橋から駿河台南甲賀町へ 2

- 数寄屋橋キャンパスからの移転を迫られた理由（仮説）

学生数の急増への対応のほか、**旧島原藩邸敷地の一部を横切る「新橋・上野間の鉄道延伸計画（1884年発表）」も大きく影響か？（松平家の地所放出？）** ※**実際の高架線完成は1910年**  
1911年（明治44年）頃の数寄屋橋近辺の新永間市街線高架橋 「東京風景」より



手前  
有楽町